堺市

『児童発達支援自己点検及び評価シート』

作　成　日：　令和５年５月１８日
事 業 所 名：　ラック宿院スタジオ

		現在の取組内容・今後の改善目標（内容）
１　環境・体制整備	①支援内容にあった指導訓練室・相談スペース等の確保	運動スペースは広く取り、美術活動は棚で区切っている。児童にも分かりやすい様にマットで色分けし、運動活動・美術活動・自由スペースと分けている。 また、相談スペースも確保している。
	②職員の専門性・配置数 あい・さかいサポートリーダーの配置の有無	現在スタッフに保育士、臨床心理士、児童指導員などを配置し、それぞれの専門性を活かして療育している。 人員配置も満たしている。 あい・さかいサポートリーダーは無
	③送迎体制・添乗員の確保	ドライバーの人数や添乗員も確保されている為、より安全に送迎に実施している。
	④合理的配慮の視点に基づく環境整備	活動に応じたスペースの確保や運動活動と美術活動の場所が分かりやすい様に床に敷いているマットの色を変え、視覚的にも分かりやすい様に配慮している。また、活動の見通しが付く様にスケジュールや絵カードを壁に貼り、自分で選び伝えられる様にしている。自由に使える道具置き場やスタッフが管理する物など、分かりやすくしている。
	⑤職員の健康診断の実施	全職員対象で年１回の実施をしている。
２　業務改善	①アンケート等による利用児・保護者のニーズの把握とフィードバック	毎年、事業所を利用する利用日数のアンケートを実施し、利用日数を増やしたい方に関しては、希望に添える様に努力している。保護者ニーズを把握する為に必要に応じてアンケートを行い、保護者ニーズの把握や改善が必要な場合は実施していく。
	②職員の支援技術の向上・虐待防止等の研修 （障害児通所支援事業者育成事業利用の有無）	外部研修や内部研修も行い、情報共有している。職員のスキルアップの為、動画での研修などにも取り組んでいる。虐待防止研修にも参加していきたい。 障害児通所支援事業者育成事業利用は有
	③虐待防止等のための責任者を設置	虐待防止の為の責任者を設置している。
	④利用児、保護者からの苦情や意見への対応及び事業運営への反映	苦情や意見などがあった時は、迅速に対応し会議をして改善出来るように話し合い、周知している。また、スタッフへ報告と共有も随時行っている。

３　適切な支援の提供	①児童発達支援管理責任者による児童発達支援計画の作成（アセスメント・利用児及び保護者の意向確認・計画案の作成・会議開催・計画の保護者への説明及び交付）	適切な手順に沿って、個別支援計画の作成を行い記録している。 運動活動と美術活動を中心に児童の現状を把握し、その上で今後の課題や方向性を保護者に説明をしている。また、学校や家庭での様子を聞き取り、事業所での様子を伝えている。会議では、それぞれの専門的な視点から意見を出し合い、支援方法を検討している。 今後も保護者との連絡を密に行い、保護者ニーズや児童の現状をより把握した上で対応している。
	②モニタリングの実施、計画の見直し	毎日のミーティングの時に支援計画に沿うように課題の確認と共有を行い支援している。 毎日の療育後や次の日に、その日の様子を情報交換している。また、計画の見直しも必要に応じて行う。
	③個別の課題に対応した活動内容・プログラム	毎日のミーティングの中で活動内容を話し合い、個別の課題を確認し情報共有している。 運動活動では、マンツーマン指導と小集団活動を行い、美術活動では月案に沿って個別の課題に取り組んでいる。また、長期休みなどには、壁面制作を行い、お友達と一緒に取り組む事も行っている。
	④ミーティング等の実施	療育を行う前に全員でミーティングを開催している。注意事項や支援内容の把握、前回の利用時の様子、スタッフの動きなど毎日必ず行っている。 月１回以上必要に応じてミーティングを行い、情報の共有と伝達、支援内容などを話し合い記録している。
	⑤支援内容の記録	毎回、連絡帳に支援内容や児童の様子、体調などを記録し、保管している。また、業務日誌を作成し、変化や様子など支援の対応について記録している。
４　関係機関との連携	①サービス担当者会議への参加（障害児相談支援事業所との連携）	サービス担当者会議が開催された時は参加している。支援が必要な児童の問題点や事業所での取り組みと様子を共有している。また、家族や相談支援事業所や学校、複数の事業所と連携を図り定期的に情報共有を行っている。保護者に了承を得て共有させて頂いている。
	②認定こども園・幼稚園・保育園、保健センター等との連携	保育園と連絡を取り、様子の共有を行っている。また、保健センターとも連携をとって、事業所に利用に繋げている。
	③他の児童発達支援事業所、児童発達支援センター、障害福祉サービス事業所等との連携	他の児童発達支援事業所とは、情報共有や情報交換を必要に応じて行っている。

	④（特に医療的ケアを必要とする利用児について）主治医や協力医療機関等との連携・連絡体制	協力医療機関との連絡体制はとれている。 医療的ケアを必要とする児童は利用されていない。
	⑤就学する際の移行支援（学校との引継ぎ・情報共有等）	学校生活に向けて、担当者会議を行い、引継ぎや情報共有も行っている。
	⑥「あい・ふぁいる」の活用	現在は「あい・ふぁいる」を活用出来ていない。今後は保護者に周知していく。
５　保護者への説明責任等	①事業所で実施している支援（支援内容、プログラムなどを記載してください。）	運動活動と美術活動を行う中で、コミュニケーション向上に向けて支援している。 また、運動活動では、マンツーマン指導と小集団活動を行い、美術活動では月案に沿って個別の課題に取り組んでいる。また、長期休みなどには、壁面制作を行い、お友達と一緒に取り組む事も行っている。
	②運営規程、支援内容、利用者負担の説明	運営規定は契約時に書面に沿って保護者に説明を行っている。支援内容は見学や体験利用の時にも説明をしている。利用者負担の説明も行い、保護者からの質問にも応じている。
	③保護者からの相談への適切な対応、必要な助言	保護者からの相談は、送迎時や電話で対応し必要な場合は、職員で会議をした上で問題点や支援内容など相談に対して検討し助言や提案をしている。 事業所で対応しきれない場合は、保護者の了承を得て各関係機関に相談を行い検討し助言している。 また、相談内容や会議録などは記録している。
	④会報の発行等による活動内容や行事予定等の定期的な発信	週２回インスタグラムを更新し、事業所での様子や内容は掲載している。イベントを行う前には、必ずアンケートや手紙などを配布し伝えている。 また、美術活動の月案は毎月、保護者に配布し、児童が見通しを持って取り組める様にしている。
	⑤日々の支援内容、利用児の様子、おやつ等の保護者への報告	連絡帳に活動内容・体調・必要に応じておやつの摂取量・事業所での様子・排泄回数を記入している。 送迎時には、保護者への連絡事項や連絡帳に記入出来なかった事を口頭や電話で伝えている。
	⑥おやつ代等実費徴収している費用に係る領収書の発行、精算報告	現在、実費徴収は行っていない。今後、発生した場合は必ず領収書を発行し、精算報告を行う。

	⑦身体拘束を行う場合の決定手順、利用児・保護者への説明、計画への記載	対象者なし。
	⑧個人情報の適切な取扱い	カルテは鍵付きの書庫に保管している。また、外への持ち出しを禁止している。利用する目的の範囲を決めて厳重に取り扱っている。また、定期的にスタッフへの周知を行い、情報漏洩の対策に努めている。
６　非常時の対応	①緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等の整備と職員、保護者への周知	定期的に更新していき、その都度職員への説明と周知を行う。 避難訓練に関しては、職員だけの訓練も行い、動きや役割をシュミレーションしていく。また、新しく入った職員に関しては、避難訓練の前に個別に避難ルートを伝え、確認している。
	②非常災害の計画策定、避難・救出・その他必要な訓練の実施	定期的に避難訓練は行っていくが、Ｊアラートや送迎時に地震や津波が起こることも想定し、職員間で共有し的確な対応と行動が出来る様に訓練を実施していく。また、避難時に必要になる備品も定期的に確認し備えている。 避難訓練に関しては、職員体制や児童数が異なる為、問題点や改善策も異なり対応が難しい。どの曜日も行い、全児童が参加し、経験を積み重ねていける様に対応していく。
	③ヒヤリハット、事故の事案を収集し再発防止等について事業所内において共有	ヒヤリハットを作成し、職員全員で反省点と対策を話し合い再発防止に努めている。さらに、ミーティングでも共有している。
	④サービス提供中の事故を防ぐための取組等	設置している運動器具や棚の角、机の角などは、コーナーガードで対応をしている。また、ドアノブにもドアノブカバーグリップを取り付けて、怪我の防止に努めている。運動器具を使用する時には、必ずスタッフを配置し、周りにもスタッフを配置する事で、児童の衝突や怪我の防止にも努めている。美術活動では、はさみの使用の時には、マンツーマンで使用し、児童の人数も制限している。（交代制）また、はさみなどの危険な物などは、鍵付きの棚でスタッフが管理している。

	⑤感染症対策の実施	スタッフはマスクの着用、手洗い、消毒などを行い、体調が悪い時は速やかに退社している。児童については、手洗いと消毒を実施している。 換気扇で室内の換気を常に行っている。 使用したおもちゃや運動器具などは、毎日消毒を行い、衛生面にも配慮している。
7 その他	① 地域との交流	現在はファミリーマートで昼食やおやつを買いに、利用させて頂いている。店員さんの理解もあり、お金のやり取りや商品の受け渡しも丁寧に対応して頂いている。商店街に行き、魚屋さんで魚を見させて頂いている。また、可能な限り地域の祭りやイベントに参加し、地域との交流を検討していきたい。対象者なし。